

機械器具 56 採血又は輸血用器具  
一般医療機器 真空採血管用ホルダー 70364000

## ニプロホルダーS

### 再使用禁止

#### 【禁忌・禁止】

- 再使用禁止
- 未滅菌の真空採血管と組合せて使用しないこと。

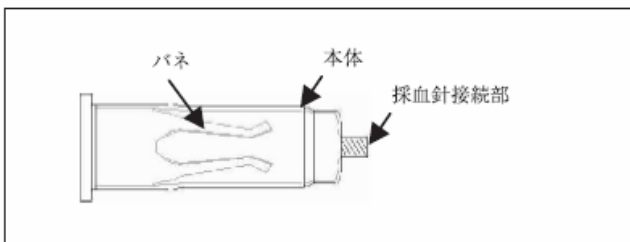
#### I. 耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針と組み合わせて使用する場合の禁忌・禁止

- 耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針以外の採血針等と組合せて使用しないこと。
- 採血終了後、採血管に採血針が刺さったままの状態で駆血帯を外さないこと。[駆血帯を外すことによる圧力の変動により、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- ホルダーは患者ごとの使用とし、使用後は廃棄すること。  
[ホルダーに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがあるため。]

#### II. 耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針以外の採血針と組み合わせて使用する場合の禁忌・禁止

- 駆血帯を装着した状態で採血管をホルダーに挿入しないこと。  
[駆血帯を装着した状態で採血を開始し、採血後採血管を挿入した状態で駆血帯を外した場合、静脈血圧が急激に低下し、採血管内の内容物等が患者の体内に逆流するおそれがある。]
- ホルダーは患者ごとの使用とすること。[ホルダーに血液が付着した場合は、交差感染のおそれがあるため。]

#### 【形状・構造及び原理等】



※ バネがない仕様のももある。

#### 【使用目的、効能又は効果】

真空採血システムの一構成をなすものであり、採血針等を穿刺する際に、固定及び安定化させる用具である。採血針を嵌合し、固定した後、当該ホルダー内に真空採血管を挿入することによって、採血が開始される。

#### 【操作方法又は使用方法等】

##### I. 耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針と組み合わせて使用する場合の使用方法

1. 包装を開封してください。
2. 採血針のキャップを外して、針基を本品にねじ込んで下さい。

〈注意〉本品との接続がしっかりとされていない場合、うまく採血が出来ないことがあるので、使用前に必ずしっかりと接続されていることを確認すること。

3. 駆血帯をかけた後に、皮膚の消毒等をして下さい。
4. 本品を持ち、まっすぐ引くようにして採血針のコンテナを外し、血管へ穿刺して下さい。

〈注意〉コンテナを外すときは、針先に当たらないように注意すること。当たってしまった場合には針先が変形する可能性がある。

5. 採血針を血管に穿刺したら、採血管を本品にまっすぐ完全に押し込んで下さい。

〈注意〉必ず滅菌済み真空採血管を使用すること。

6. 規定量の血液が採れるまで状態を保って下さい。
7. 採血の血流が停止したら、直ちに採血管を本品から外して下さい。
8. 連続採血する場合には、本品を固定したまま採血管を取り替えて下さい。
9. 採血終了後、採血管を本品から抜去した後に駆血帯を外して下さい。
10. 使用後は感染防止に注意し、そのまま廃棄して下さい。

##### II. 耐圧性能を有するゴムスリーブ付採血針以外の採血針と組み合わせて使用する場合の使用方法

1. 包装を開封してください。
2. 採血針のキャップを外して、針基を本品にねじ込んで下さい。

〈注意〉本品との接続がしっかりとされていない場合、うまく採血が出来ないことがあるので、使用前に必ずしっかりと接続されていることを確認すること。

3. 駆血帯をかけた後に、皮膚の消毒等をして下さい。
4. 本品を持ち、まっすぐ引くようにして採血針のコンテナを外し、血管へ穿刺して下さい。

〈注意〉コンテナを外すときは、針先に当たらないように注意すること。当たってしまった場合には針先が変形する可能性がある。

5. 採血針を血管に穿刺したら、採血管を装着する前に駆血帯を外してください。
6. 採血管を本品にまっすぐ完全に押し込んで下さい。  
〈注意〉必ず滅菌済み真空採血管を使用すること。
7. 規定量の血液が採れるまで状態を保って下さい。
8. 採血の量が停止したら、直ちに採血管をホルダーから外して下さい。
9. 連続採血する場合には、本品を固定したまま採血管を取り替えて下さい。
10. 採血が終わったら、注意して抜去し、止血してください。

#### 【使用上の注意】

##### 重要な基本的注意

- 外観が変形したものは使用しないこと。
- 採血針と本品の嵌合にゆみがないことを確認後、使用すること。
- 他の医療機器に接続して使用する場合、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用する事。
- 使用後は、感染防止に留意し、採血針を外すことなく安全な方法で処分すること。
- 万一、包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。

#### 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

##### 1. 貯蔵・保管方法

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿をさけて保管すること。

#### 【包装】

10個、20個、50個／箱（又は袋）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】**

製造販売元（問い合わせ先）

ニプロ株式会社

大阪市北区本庄西3丁目9番3号

電話番号：06-6372-2331

製造元

ニプロ医工株式会社



ニプロ株式会社

---